

仲道郁代「光のこどもたち」参考資料

◆「光のこどもたち」公演を行うための必要な機材

①東京から輸送が必要な機材（ジャパン・アーツ手配）

- ・ DVDポータブルプレイヤー
- ・ プロジェクター（映像を投影する機械）

※LCDデータプロジェクター（SONY）

200インチ投影の場合：約6.0～6.9mスクリーンから離す必要あり

300インチ投影の場合：約9.0～10.4mスクリーンから離す必要あり

②公演を行われる主催者様にご手配頂く機材

- ・ スクリーン（画像を映し出すもの）

※ 反響板が白く平らであるものでしたら、そこに投影することは可能

◆セッティングの様子

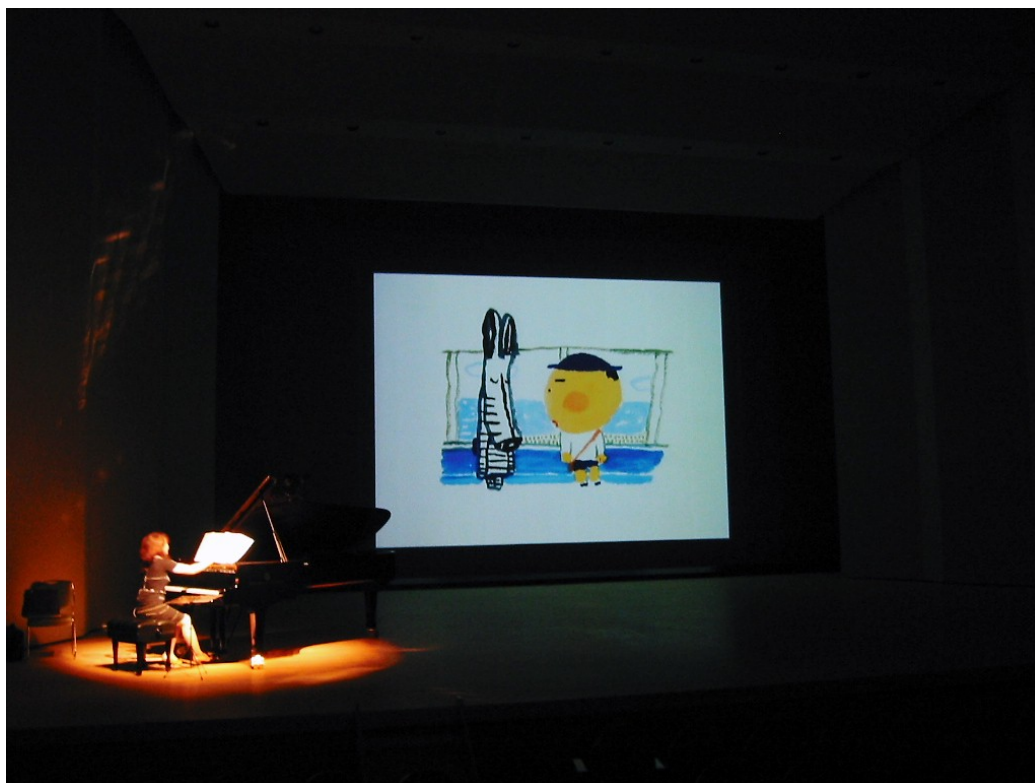


※添付写真と本番は異なります

資料作成：株式会社ジャパン・アーツ
仲道郁代担当：肥後裕介・寺沢光子・高木聡
TEL:03-3499-8090FAX:03-3499-8092

仲道郁代「光のこどもたち」参考資料

- ◆演奏の様子（投影サイズが300インチ（457×610cm）以上）



- ◆演奏の様子（投影サイズが200インチ（305×406cm）以下）

※天地の高さがある場合は、下記投影も可能。注意はピアノのふたが映像にかからないこと！



資料作成：株式会社ジャパン・アーツ
仲道郁代担当：肥後裕介・寺沢光子・高木聡
TEL:03-3499-8090 FAX:03-3499-8092

仲道郁代「光のこどもたち」参考資料

◆ 反響板の設営上、スクリーンの設置が難しい場合

この公演は「クラシックコンサート」のため、反響板の設営は必要不可欠です。しかし、反響板の設営上、左右、天井の設営は可能だけど後ろの反響板がスクリーンを降ろしてしまふと、設営が難しいというご相談を受けることがあります。

その場合、下記内容で行うことが可能です。しかしこの内容は、前半の「光のこどもたち」のみで、後半のリサイタルは、きちんと反響板の設営をお願い申し上げます。

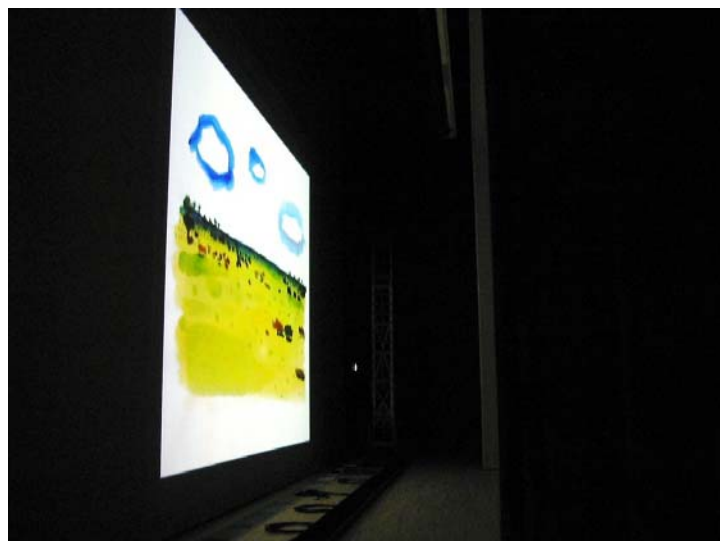
またスクリーン代を節約するために、反響板が凹凸ではなく平で「白」であれば、そちらに映写する事も可能です。他に、上記後ろ反響板の後ろにシルクスクリーンや白い壁があるようでしたら、そちらに映し出すこともできます。(添付資料写真ご参照)



←

下手裏から、左右天板は作られた状態

↓客席から見た状態



←

映像を映し出した状態

2005年1月18日更新